

	1 (就職2年目)	2 (就職2~3年目)	3 (就職3~4年目)	4 (就職5年以上)	
レベル定義	定められたマニュアルに沿って、あるいは部分的に指導を受けながら看護業務が実践できる。指導を受けることにより自己の学習課題を見つけることができる	看護実践の場面において単独で看護を提供できる。チームリーダー的役割を認識し進行できる。	経験に基づいて状況を把握し、高度な看護活動を実践し、かつ他者にモデルを示すことができる。看護実践においてリーダーシップを発揮できる	わずかな手がかりで状況を直感的に把握し問題領域に的を絞ることができる。論理的でかつ実践的知識を統合して卓越した看護を実践し所属を超えて看護の立場でリーダーシップが発揮できる	
目的	社会人・組織人としての自覚を持ち所公衆人としての自立を目指す		患者との相互関係において統合した看護判断ができると共に、主体性を持ってケア開発についての指向を図る		
説明責任	自己の責任と能力を的確に認識し実施した看護について個人として責任を持つ				
倫理実践	人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、看護者の倫理綱領に基づいて看護を実践する				
法的実践	医療法、保助看護に基づき、日本看護協会等のガイドラインに沿って看護を実践する				
看護実践能力	情報収集	・指導を受けながら、割り当てられた患者について定められたフォームにそって情報収集ができる	・割り当てられた患者の状況を判断し、意図的に情報収集ができる ・収集された情報から必要な情報をチームメンバーに伝達できる	・信頼関係を確立し情報収集ができる ・家族や社会問題について考察して情報収集ができる ・他の医療チームメンバーの情報収集を利用して包括的な情報収集ができる	・問題の領域に的を絞って選択的に情報収集ができる
	問題の明確化	・指導を受けながら、割り当てられた患者の看護問題を取り上げることができる	・情報収集に基づいて査定し、看護問題を明らかにすることができる ・問題をチームメンバーに伝達できる	・他の医療チームメンバーに相談が必要な問題か鑑別できる ・潜在する問題についても判別できる ・問題を医療チームメンバーに伝達できる	・選択的に収集した情報に基づいて、即座に、的を得た看護問題が判別できる
	計画立案	・指導を受けながら割り当てられた患者の看護ケア計画（目標の設定を含む）をたてることことができる	・割り当てられた患者の問題に即した看護ケア計画を立てることができる	・優先度を考慮して、看護問題に則した看護計画を立てることができる ・社会資源を活用できる	・特殊な、または複雑なニーズを持つ患者の看護ケア計画を立てることができる ・患者の退院後の生活像に合わせた患者のゴールを設定できる
	実践	・指導を受けながら、割り当てられた患者の看護ケア計画に沿って看護ケアが実践できる ・割り当てられた患者の日常生活の援助ができる ・割り当てられ他患者の症状と反応を観察し、異常について即座に報告できる ・看護手順、診療介助手順を参考に、正確かつ安全に看護業務が実践できる ・未習得の看護技術を実践する場合に確認を求められることができる ・指導を受けながら看護実践が正確に記録できる ・緊急時指導を受け行動できる	・割り当てられた患者のケア計画に沿って、看護ケアが実践できる ・割り当てられた患者の看護ケア計画にそって、患者及び家族の指導ができる ・未習得の看護技術を実施する場合に資料や人的資源を活用できる ・看護実践が正確に記録できる ・支援を受けながら緊急事態に対応できる ・一定時間内にケアが完了できる	・資源を効果的に活用して、個別的な看護ケアが実践できる ・特定の学習ニーズを持った患者及び家族の教育指導ができる ・看護技術が熟練している ・緊急事態を予測して対応できる ・看護実践において役割モデルを遂行できる ・患者ケアの問題に対して、洞察と解決をもたらすような情報が記録できる	・多様なアプローチ（照会、相談、医療チームの協力体制の確立、患者ケア、カンファレンス等）を君入れた患者ケア計画に沿って、看護ケアが展開・実践できる ・緊急事態にリーダーシップを発揮して対応できる ・看護実践において、他の看護職員の人的資源になることができる ・看護ケアを実践する時に、創造性と刷新製を発揮できる ・複雑な患者ケアの問題に対して、洞察と解決をもたらすような情報記録ができる
	評価	・割り当てられた患者に行なったケアの結果を報告できる ・指導を受けながら割り当てられた患者についての妥当性を評価できる ・ケアの結果についての疑問点を質問することができる	・割り当てられた患者に行なったケアの結果を端的に報告できる ・割り当てられた患者ケアについて妥当性を評価できる ・患者ケアに対する反応を評価し記録できる ・必要時再査定、評価できる	・看護過程の展開について評価し、その結果を同僚に伝達し共有できる ・医療チームメンバーと協力し、患者の経過を査定できる	
自己教育・研究能力	自己	・自己学習のニーズを明確にし学習目標の設定ができる ・当該看護単位の勉強会へ参加する ・院内教育プログラムへ参加する ・事例をまとめることにより看護の振り返りができる	・提示された院内外の教育プログラムに積極的に参加する ・臨床専門分野において、患者ケアに適用できる最近の文献を読む ・専門家としての能力開発のためのプログラムを自分で立案する ・看護研究に取り組む	・専門家としての能力開発のためのプログラムを自分で探して積極的に参加し、その結果をチームメンバーに伝える	・専門家としての能力開発のためのプログラムに参加し、その結果を有効に活用できる 中高年看護師 (35歳以上の看護師) ・経験を重ねるだけでは個人の能力は陳腐化する。何時でも要請に応えられるスキルを身につけるよう研鑽する
	スタッフ	・参加したプログラム内容を同僚に伝達できる ・患者ケアに関する体験を同僚と共有できる	・経験未熟な看護スタッフが必要な知識と技術を取得できるように援助できる ・指導の結果を報告できる ・看護単位の学習のニーズを満たすための計画に参加する ・援助を受けながら、ブレイクthroughの役割をとることができる ・学習の機会に参加するようにまわりの人に積極的に働きかける	・利用可能な資源を用い、新しいスタッフと、レベル1またはレベル2看護師の指導として機能する ・リエゾンなど看護単位の教育プログラムに、指導者として積極的に参加する ・ブレイクthroughの役割をとることができる ・看護単位の学習のニーズを満たすための計画の展開と評価に参加する ・カンファレンスを計画し、指導できる	・学習ニーズの査定、達成目標の概略そして評価方法を網羅し指導プログラムを計画し実施できる ・スタッフの指導者として機能する
	学生・研修生		・適切な学習資源を学生に指示することができる ・看護技術の習得と患者ケア計画の展開において、学生を援助することができる	・看護実践に関して学生を援助することができる	・看護管理（患者ケア、看護スタッフの育成、看護単位の運営、他部門との連携）に関して、学生の指導ができる ・チームメンバーをまとめ、カンファレンスや委員会の中心的メンバーとなって若手看護師を指導する
マネジメント能力	(1年半) ・受け持ち看護師としての役割を理解し、メンバーとしての認識をもった行動ができる ・業務の優先順位がわかり一日の行動計画を立てることができる ・日常の業務内容における問題発起ができる	・メンバーの役割を理解し、メンバーシップが発揮できる ・リーダーの役割を理解し、実践ができる ・自己の課題に取り組むことができる	・リーダーの役割を理解し、実践できる ・看護単位の環境や物品管理に気を配ることができる ・夜勤業務でリーダーの役割をとることができる ・リーダーの役割を理解し、リーダーシップが発揮できる ・日常業務のリーダーの役割をとることができる	・看護部門の方向性を理解しながら、看護単位の目的、目標達成度を評価できる ・看護業務について責任を持ち、業務改善について意見を述べる ・看護単位における、専門分野に精通し自己の立場が理解でき、必要な役割が果たせる	
人間関係能力	・看護実践や自己成長のために同僚・先輩・師長の支援を受けることができる ・患者や看護単位のスタッフとコミュニケーションをとることができる	・患者、家族に対し共感的理解を示し患者と良い人間関係をつくることことができる	・医療チームの役割を理解しチーム機能を活用できる ・患者、家族、医療チームメンバーと良い関係がとれる	・関連部門と連携し、諸体制を活用して意見を集約しながら問題解決をしていくことができる ・師長とスタッフのハイブリッド役	